

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年02月07日

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広島県												
計画の目標	<p>太田川、芦田川及び沼田川は、それぞれ本県を代表する河川であり、生活用水をはじめ、工業用水、農業用水として重要な水源となっている。また、瀬戸内海も本県の経済を支えるとともに、県民の貴重な憩いの場となっている。</p> <p>一方、各河川の流域は、都市化が伸展しており、公共用水域の汚濁が進行してきた。近年は、改善傾向にあるものの、引き続き水質の改善が求められる状況である。</p> <p>このため、太田川、芦田川及び沼田川の各流域下水道事業により、広域的なスケールメリットを働かせ、健全な水環境の回復を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,830	A	3,830	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R02末	R04末
1	<p>・各流域の市街地部から発生する汚水を浄化し、公共用水域へ排出される汚濁物質を削減する。（汚濁物質の削減量：H31当初12,500t→H32末12,700t）</p> <p>各流域下水道の終末処理場で、流入汚水を処理して汚濁物質（BODで表示）を除去する量。</p> <p>1年間で除去する汚濁物質（BODで表示）の量（t）＝【流入水質BOD－放流水質BOD】×年間処理下水量（t）</p>	12500 t	12700 t	13250 t

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

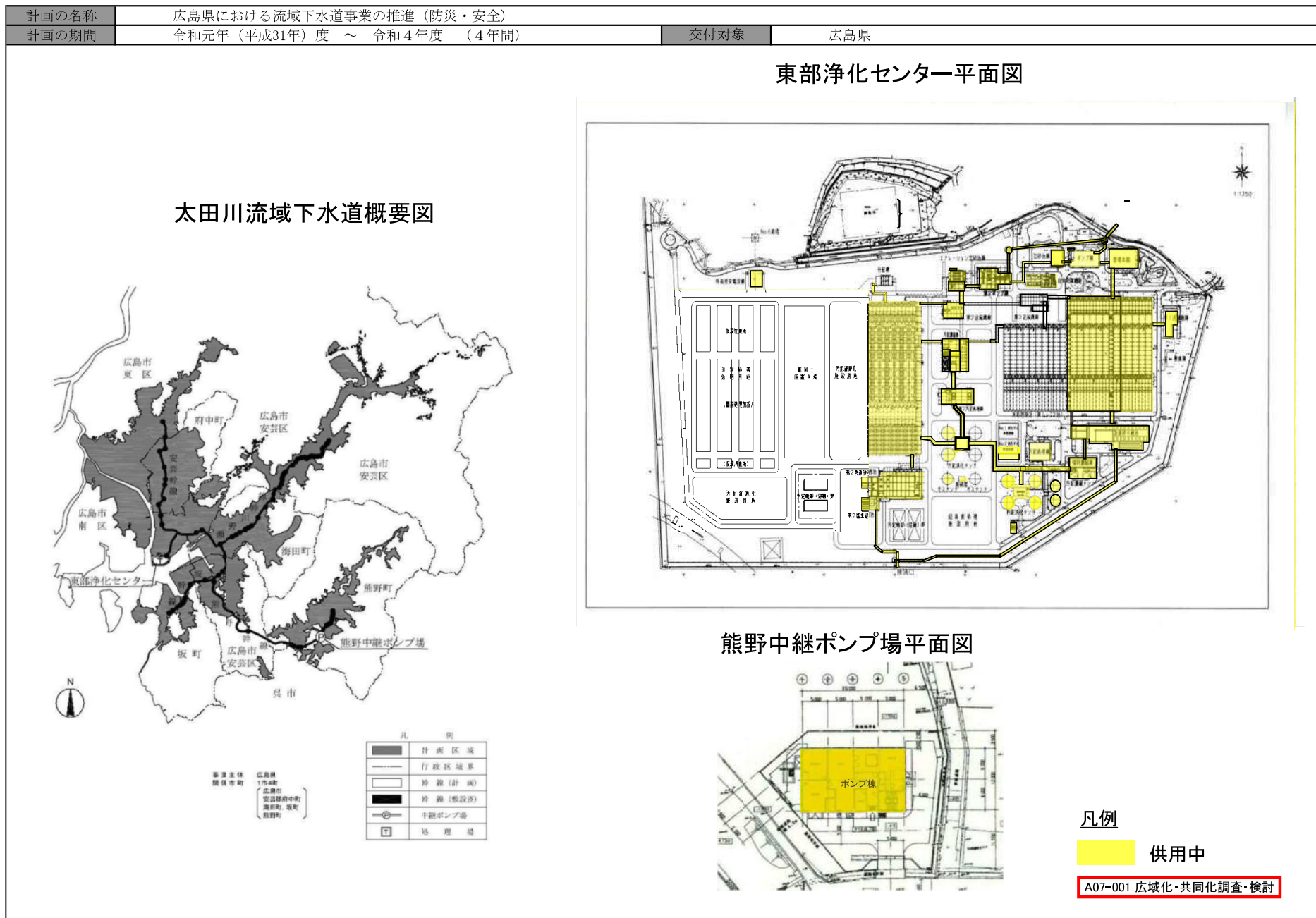
A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H31	R02	R03	R04	R05						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	—	太田川流域下水道 調査 ・設計	広域化調査・検討	広島市・府中町 ・海田町・坂町 ・熊野町	■	■				10	—				
	A07-002	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	—	芦田川流域下水道 調査 ・設計	広域化調査・検討	福山市・府中市	■	■				10	—				
A07-003	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処 理場	新設	芦田川流域下水道 芦田 川浄化センター	水処理施設 (11,200m3/日)	福山市	■	■				690	—					
A07-004	下水道	一般	広島県	直接	広島県	—	—	沼田川流域下水道 調査 ・設計	広域化調査・検討	三原市, 東広島	■	■				10	—					
A07-005	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処 理場	新設	沼田川流域下水道 調査 ・設計	新設整備調査・設計	三原市・東広島 市	■	■	■	■		40	—					
A07-006	下水道	一般	広島県	直接	広島県	終末処 理場	新設	沼田川流域下水道 沼田 川浄化センター	処理場：水処理施設 (11,000 m3/日) 等, 流域下水道：MP 所等	三原市	■	■	■	■		3,070	—					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

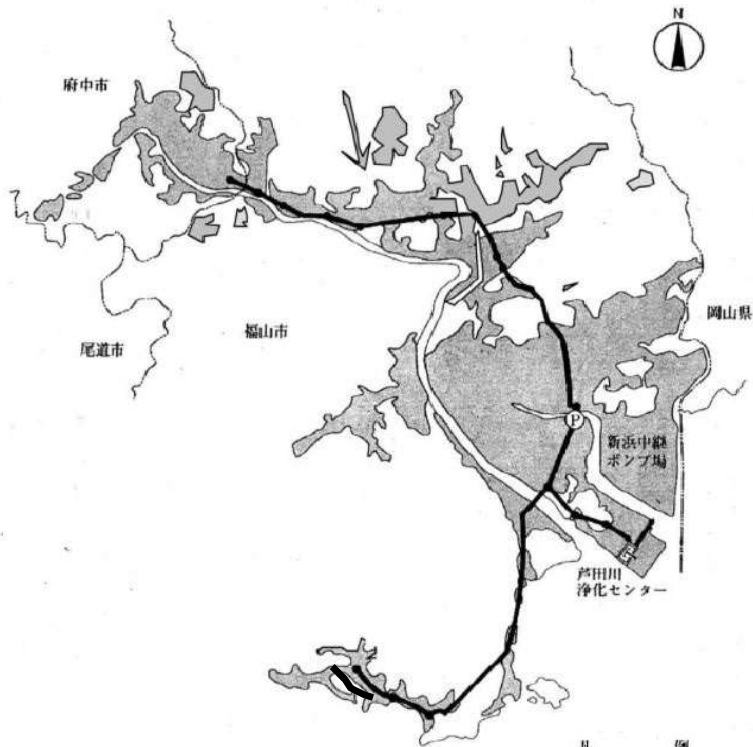
(参考図面)



(参考図面)

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進（防災・安全）		
計画の期間	令和元年（平成31年）度 ～ 令和4年度（4年間）	交付対象	広島県

芦田川流域下水道概要図

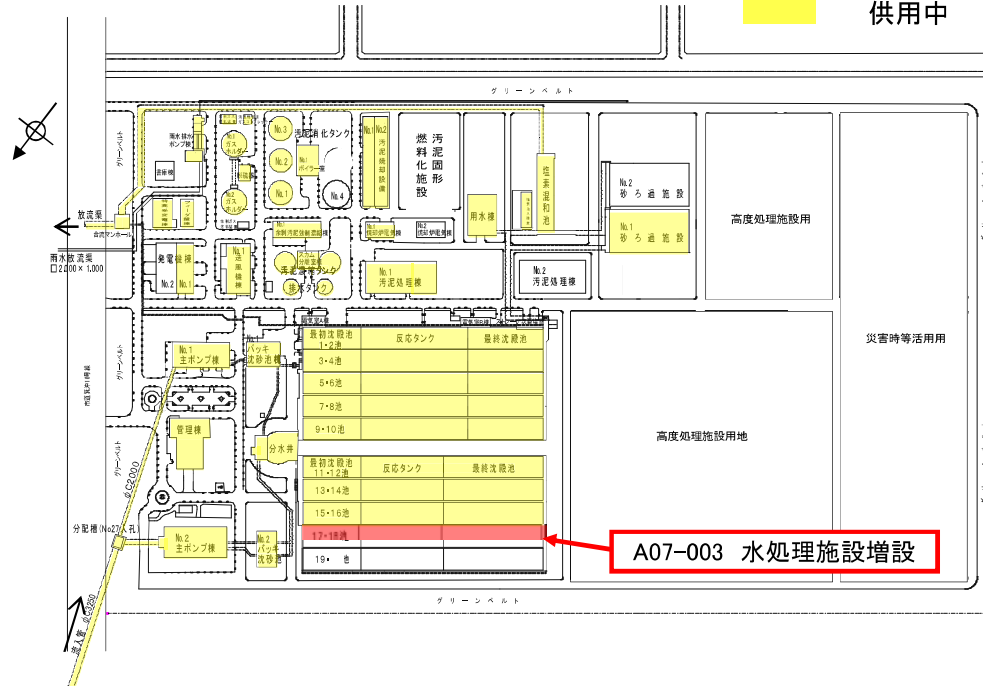


事業主体 広島県
関係市町 7市
(福山市、府中市)

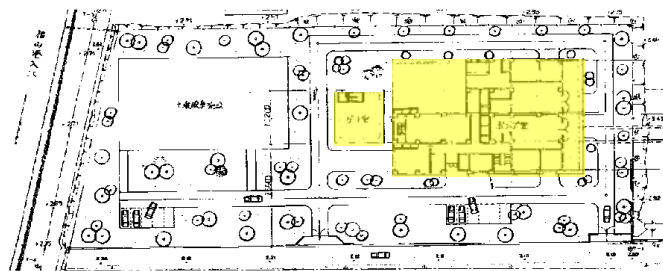
凡 例	
	計画区域
	行政区域界
	幹線(計画)
	幹線(敷設済)
	中継ポンプ場
	処理場

芦田川浄化センター平面図

凡例 対象施設
 供用中



新浜中継ポンプ場平面図



A07-002 広域化・共同化調査・検討

事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県における流域下水道事業の推進（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。（流域下水道事業事業計画）	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	